

2025年は乙巳の年です。

巳（へび）は脱皮を繰り返すことから、再生、復活、変化、復興の象徴ともされています。

醍醐寺の霊宝館では、京都府で一番古いソメイヨシノ（樹齢120年以上）とされている木が、春になると大変華麗な花を咲かせていました。



2018年3月の様子

しかし、2018年の台風21号により、大きな枝が引きちぎられて根こそぎ倒れてしまいました。

境内では数千本の木がなぎ倒され、復興には大変な労力がかかり、私たちの心にも大きな傷を残すことになりました。



2018年の台風直後の様子

あちらこちらの枝が折れ、幹も途中から引き裂かれ瀕死の状態でしたが根はまだ生きている、ということで何とか復活させたいと願い、醍醐寺桜守や専門家の力を借りて懸命に養生を続けました。

その甲斐があり、少しずつ若い枝が伸び始めてきました。

そしてなんと翌年の2019年には、数本の枝が華麗な花を咲かせたのです。まるで、「わたしは頑張って生きているよ」という力強いメッセージを伝えてくるかのようでした。

私たちの心に何とも言えない感情がこみ上げ、励まされているように感じました。

年々力強く成長し、天に向かって伸びていく枝の様子は、まさに再生と復活の象徴です。

現在では、醍醐寺のソメイヨシノの中で一番先に多くの花をつけるようになりました。



2019 年見事に花を咲かせました



2025 年 4 月 1 日 これから見頃を迎えます

2025 年 3 月 25 日、京都の八瀬造佛所の野田康童仏師がこの「ど根性桜」の一生懸命生きようとする姿に深く共感、敬意を表して、この木のさらなる成長と地域と子どもたちの安全を願い、「童地藏」を奉納してくださいました。

この木のどこかに童地藏が隠れていますので、探してみてください。



今年も「ど根性桜」が華麗で生命力溢れる花を咲かせ、もうすぐ見頃を迎えます。

皆さまもこの生命力溢れる姿をご覧頂き、生きる力、諦めない力を「ど根性桜」から受け取って頂くことを願っております。